

明けましておめでとうございます。新年会の趣旨に照らし、日本語にてご挨拶申し上げます。

まず年初の能登半島地震により、大きな被害が発生しております。亡くなられた方々に対し、ご冥福をお祈りするとともに、被災された方々及び全ての関係者の方々に対しまして心よりお見舞いを申し上げます。また2日には、羽田空港で日航機と海保機の衝突事故がありました。

被災地に向かっていた海上保安庁職員の方々の使命感に思いを致し哀悼の誠を捧げます。

なお、昨年ここから日本に送り出し石川県等に滞在中のJ E Tメンバーたちの無事は当館より確認いたしました。

かような事態にも心寄せ合いながら、本日は当地総領事として、日本人コミュニティの発展、日本企業同士の連携、日本語での教育にそれぞれご尽力をいただいておりますオークランド日本人会、二水会、オークランド日本語補習校、ワイタケレ日本語補習校及びハミルトン日本人会よりご出席を賜り、お顔を合わせて新年を迎えられますことを嬉しく思います。

当総領事館は、これまで管轄のオークランド、ノースランド、ワイカト、ベイオブプレンティ及びルアペフ地区にお住いの1万人を超す在留邦人の皆様の安全の確保を最優先に取り組んできました。これからの未来を共に創っていく私たちは、長年の伝統文化を継承し、同時に次代の技術開発や途上国の人造り・国造りの支援、必要なルール作りへの貢献などで、国際社会で地道に徳を積んできた日本への信頼と日本の強みを活かして、経済社会の基盤を揺るがすような様々なリスクにも対処することや、そのために垣根を越えて心を通わせる強靱で豊かな人と人との繋がりを築いていくことが求められております。こうした時代に相応しい日本人コミュニティの連帯の強化、知見と経験の学び合い、助け合いを通じ、ご縁があって当地で出会った私たち一人一人の安心で実りあるワーク・アンド・ライフに繋げていきたい、今回こうした思いで、この新年会を企画させていただきました。

昨年を振り返れば、1月の集中豪雨、2月にサイクロン・ガブリエルに見舞われた日本企業の皆様におかれては再開に向けてなお懸命に努力されている最中と承知しており、一日も早い復興を願っております。一方で、コロナ規制が緩和され、姉妹都市・教育交流、経済ビジネス、多くの文化・スポーツ行事等が再開しました。

私が着任した6月以降は、7月に日本、ニュージーランドが既に入っているC P T P P、環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定にイギリスが加入する署名式がオークランドで行われ、貿易ルールの拡大が進み、パートナーの多角化も重要性を増しています。8月には、F I F A女子ワールドカップが開催され、なでしこジャパンの最後まであきらめない気迫は、多くの感動をもたらしました。11月には、日本武道館主催武道文化交流事業や日本映画祭が開催されました。日本文化行事を通じた相互理解の促進は、良好な二国間関係の基礎に貢献するものです。本年も様々な行事を開催して参りますので、ご協力

のほどをお願いいたします。

姉妹都市交流も活発に行われました。9月、品川区は、オークランド市との友好都市関係締結30周年を記念して、森澤品川区長一行が参加する記念式典が行われました。11月、姉妹都市関係締結から本年度で38年目を迎える福岡市から、龍岡市総務企画局長一行をお迎えし、新たな取決めを記念して福岡庭園において梅の木の植樹式が行われました。困難も乗り越えて姉妹都市交流を支えてくださってきた日本人コミュニティの皆さまにあらためて感謝申し上げます。

11月には、クライストチャーチにおいて、第49回日NZ経済人会議が開催され、私も出席してまいりました。林業、漁業、再生可能エネルギー、イノベーション等のアジェンダについて活発に議論がされました。総領事館としても、二水会を始めとする日本企業の活動、当地の商工会との連携などこれからも支援していきたいと考えております。

オークランド日本語補習学校は、「日本の心を伝える」との教育目標を掲げ、日々の教育活動に勤しんでこられました。名誉校長として、授業参観や12月の運動会に参加し、伸び伸びと楽しんで学習している子供たちの姿に大変勇気づけられました。先のなでしこジャパンに日本語補習校の生徒の皆さんの応援寄せ書きの国旗を託してくださりお届けできたことも忘れられません。先生方、理事の方々に御礼申し上げます。

新年は2月に、オークランド日本人会主催の第21回 Japan Day が開催される予定であり、私にとっては初めてですが総領事館も全面的に協力いたします。Japan Day は、オークランド住の日本人のみならず、日本に関心を有しているニュージーランドの方々も楽しみにしている恒例行事と聞いております。オークランド日本人会や二水会、ボランティアの皆さま方が力を合わせて、良き伝統を引き継ぎつつ日本をプロモーションする本行事の成功を祈念いたします。

翻って国際社会に目を転じると、イスラエル、ガザ及び西岸情勢、ロシアのウクライナに対する侵略戦争など、国際社会は大きな挑戦に直面しています。このような中、基本的価値を共有するインド太平洋地域の「戦略的協力パートナー」であるニュージーランドとの関係を強化していくことは非常に重要です。昨年10月の選挙の結果、11月に発足した国民党中心の連立による新政権の動向は、今後の総領事館管内での貿易・経済・投資ビジネスや各種交流、領事サービスにも関わるものであります。

当総領事館は1971年に開館いたしましたが、本年は、初代の鴨原総領事が1974年に着任されて50周年の節目、私は18代目であります。何事も先達が未曾有の努力の末に築かれた両国の架け橋の礎と志を忘れず、バトンを渡された私たちは、皆様と連携しご意見も頂きながら両国の関係強化に尽力していきたいと思っております。

さて、本日は、在外公館長表彰をあわせて実施します。この表彰は、わが国とニュージーランドとの相互理解及び友好親善に寄与された方の功績を称えるもので、1989年に設立されたオークランド日本人会の第6代日本人会会長を務められたマーティン慧子様に授与致します。

マーティン様は、1997年、女性初の会長に就任されました。女性ならではの視点を生かし、生活部を立ち上げ、いこい JSA の開催や生活便利帳を作成し展開するなど、インターネットがまだ普及していない中、さまざまな情報を発信し、在留邦人の皆さまの生活を支えられました。また、会長を退いた後も、顧問として活躍なさいました。多くの方々から陰に日向に率直で温かいアドバイスを頂いてきたと伺っております。マーティン様の功績に対して心より敬意を表します。

マーティン様には、本日夫妻でいらしていただいております。ブライアン・マーティン様は、日本ニュージーランド経済委員会（JNZBC）の委員長及び役員として活躍された功績により、平成29年（2017年）、春の外国人叙勲で旭日中綬章を受章しております。ご夫妻が日本とNZの架け橋として、長く活動してこられたことに感謝申し上げます。

本日は、私と妻の出身である京都の、円満と長寿を願う丸餅のお雑煮など心ばかりのお料理を用意しました。ご堪能いただければと思います。

本年が皆さまにとって、そして日本とニュージーランドにとって、チャレンジを乗り越えチャンスを活かし素晴らしい年になることを祈念しつつ、結びの挨拶とさせていただきます。

令和6年1月10日
在オークランド日本国総領事
松居 眞司